

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	アフレコⅡ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名	声優コース	開設期	後期
対象年次	2 年次	科目区分	選択	時間数	70時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回台本を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	富永みーな・瀧崎ゆり子		実務経験の有無・職種	有・声優、ナレーター、ラジオパーソナリティ	
学習目的					
アフレコⅠの科目で習得した演技の創造理念をさらに深く追求し、考察・理解する。実技を通して互いの演技に対する共調を体感し、イメージ、具現化する。多様な形式の作品を体験し、過去から現代におけるアフレコ・アテレコ、声優の存在意義を学んでいく。朗読劇制作実習を行い、1つの作品を多人数で作り上げる過程により、新たな考え方や表現を身に付ける。観客の前で成果発表を行い実演を体験する。瞬時に役柄を作り出し、体現出来るようになる事を狙いとする。					
到達目標					
一年次より培っている発声、滑舌を更に発展させる。声優が携わるあらゆるジャンル（アニメ、外画等）の台本、映像への理解を深める。普段意識する事のない声音域、距離感を自覚し、表現する想像力を体得する。 共演者、演出家との意思疎通をはかり、協調性を持つ事が出来るようになる。朗読劇制作において、マイクを使った表現を観客の前で行う事で現場の緊張感と責任感を身に付ける。 希望する声優事務所、劇団、企業に進むべく、具体的に動けるようになる事を目標とする。					
教育方法等					
授業概要	アフレコⅠに続き、各種声優活動現場における実技を通じて、演技・声の表現・手法を学び、発展させる。朗読劇において、個人のみならず団体での意見交換・協力・協調を学び、実際に観客に発表する事への責任感、喜びを体感する事を目指す。				
注意点	学生間、スタジオ劇場スタッフ、講師とのコミュニケーションを重視する。内容に応じて台本、小道具、衣装などを用意。各自の責任において管理する。積極的な授業参加を求めるため、その意思が無い態度や度重なる欠席を繰り返す者は、配役の変更、降板も辞さない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験する事が出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	授業内で行う試験、課題を総合的に判断する。		
	成果発表 （口頭・実技）	40%	朗読劇においての積極性、演技力で判断する。		
	平常点	40%	授業内容での理解力、向上心、自らの思考の有無等により判断する。		
授業計画（1 回～10回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	朗読劇制作実習 1		台本を読解する力をつける事ができる。		
2 回	朗読劇制作実習 2		キャスティングオーディション 音響等スタッフを決め、役を得る。		
3 回	朗読劇制作実習 3 / 声の表現 1		本読み、ステージングを体得する。/アニメ作品のキャスティングで役を得る。		
4 回	スタジオ実地練習 1		台詞以外のアドリブを含め、瞬時に役に入り込み、表現出来る。		
5 回	朗読劇制作実習4		音響確認のマイクワークを含め、ステージングを理解できる。		
6 回	朗読劇制作実習5		小返し、衣装決めにより、互いの意見を交換し、積極的に動ける。		
7 回	朗読劇制作実習6		場当たり、ゲネプロ。本番の舞台での稽古、確認をする。		
8 回	朗読劇制作実習7		本番。観客の前での実演を体験する。		
9 回	声の表現 2		一年の総復習。役を掴み、演じ、画にあてる事が出来る。		
1 0 回	スタジオ実地練習 2 / まとめ		一年を振り返り、今後の目標を見出す。		